

和解・平和・友好の実現を求める3・1集会へ

渡辺健樹

■二〇〇九年～二〇一〇年の歴史の節目を

真の和解と平和、友好の転換点に

今年は、日本の植民地支配からの解放を求め朝鮮半島全土で人々が立ち上がった3・1朝鮮独立運動九〇周年にあたります。さらに来年は「韓国併合」から九一〇〇年の歴史の節目にあたります。

しかし、日本では、昨年の田母神・航空自衛隊幕僚長の論文問題に象徴されるように、いまなお加害の歴史を居直り正当化しようとする動きは後を絶ちません。そればかりか、加害の歴史に真摯に向き合うことなく、拉致問題を政治利用してあたかも日本人が一方的な被害者であるかのような世論作りが進行してきました。日本政府は、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）への「制裁」を繰り返して、日朝関係はむしろ最悪というべき状態に陥っています。とりわけ私たちは、在日コリアンへの人権侵害と弾圧を許すわけにはいきません。

こうした状況の中で、もはや不正常な関係を放置し続けることは、日本民衆にとって歴史的責任の放棄に等しいと思います。今年はとくに政権交代をはらむ総選挙を控えています。①制裁を解除し日朝国交交渉を速やかに再開すること、②過去の清算を真摯に行うこと、③拉致問題もその一環として交渉を通じて速やかに解決すること、を強く求めていく必要があります。

私たちは、3・1独立運動九〇周年の今年から「韓国併合」一〇〇年の来年（二〇一〇年）の歴史の節目にかけて、日本と朝鮮半島の人びとの真の和解と平和・友好への転換点にしていきたいと思っています。いま各分野の市民団体と共同して準備している3・1集会をその皮切りとして、多くの心ある皆様と共に声を挙げていきたいと思っています。

■民衆の連帯で東アジアの平和の実現を！

昨年、韓国民衆はBSE牛肉問題をめぐるキャンドルデモで、再び民衆運動の大きな可能性を世界に示しました。改めて韓国民衆の闘いにエールを送るとともに、李明博政権がこれに対し報復弾圧を仕掛けていることに、国際的抗議の意志を表明するものです。

いま日本でも、新自由主義政策の破綻は誰の目にも明らかです。医療・年金・雇用の破壊など深刻な事態は、民衆の連帯した力の必要性を示しています。

他方で昨年は、米ブッシュ政権をして朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に対する「テロ支援国」指定が解除されました。一月二〇日にはオバマ新政権が発足します。オバマ氏は大統領選の過程で「敵対国の首脳とも無条件で会う」ことを表明してきました。私たちは、オバマ新政権が対話を通じて朝鮮半島の準戦時状態に終止符をうち、恒久的平和協定締結、米朝正常化プロセスに向かうよう求めます。さらに私たちは、東アジア米軍のほとんどが駐留している沖縄・日本、韓国からの米軍撤退を求め続けます。そして民衆の連帯した力で東アジアの平和の実現を共にめざしましょう。3・1集会への参加・賛同を心から呼びかけます。

* * *

3・1朝鮮独立運動九〇周年 和解・平和・友好の実現を求める3・1集会へ
——一〇〇年にも及ぶ不正常な関係に終止符を！

●実行委参加・賛同費 個人一〇〇〇円／団体三〇〇〇円

●郵便振替 〇〇一〇〇八・一四〇六・一八「日韓民衆連帯全国ネットワーク」

* 3・1集会参加・賛同と明記してください

（わたなべ・けんじゅ／日韓民衆連帯全国ネットワーク）